

# 中村設計新聞

## 第七十四号



二月十六日(土) 晴れ

今期は『時代』を土曜研修の年間テーマとし、今月はVR元年とも呼ばれている『平成』をとりあげ研修を行いました。

### ◎はじめに

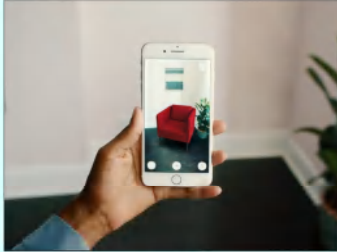
二月の土曜研修は、午後からメガソフト(株)様にご協力頂き、VRについての説明を受け、体験をさせて頂きました。平成の後半から急速に進歩し、建築設計の提案手法として、利用されている最新技術について学びました。

### ◎VR・ARとは

VR (virtual reality) とは、現実物・実物ではなく、ユーザの五感を含む感覚を刺激することにより、創り出す技術をいいます。AR (Augmented Reality) とは、人が知覚する現実環境をコンピュータにより拡張する技術をいいます。



↑体験したVR機器



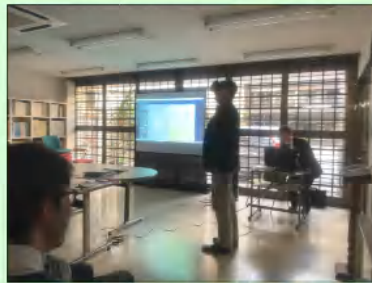
↑ARイメージ

### ◎VR製品体験

デモ用として用意して頂いた建物CGの中へダイブ！画面で見るとは違い没入感が強く、周囲を見渡したり、しゃがんでみたり、その感覚を体験しました。



↑VR機器を装着し体験！



↑おお!天井が吹抜になった!

さらにVR体験中にCGを編集することができたり、天井を吹抜けにしたり、色を変えたりして、すぐに違いを体験することもできました。また、自分で扉を開けたり物を動かしたりと貴重な体験ができました。やり過ぎで酔ってしまう人も・・・



### ◎レポート

初めてVR体験をしました。想像以上にリアルな空間に驚かされました。実際に空間を体験できるので、今までと違う提案ができると思いました。今後もまだまだ進化していく技術なので、注目していきたいです。本当にもしろいい体験でした！  
前田直美



↑最初に説明を受けました。



↑ARを初体験！

### ◎まとめ

設計ツールとしてのVR・ARを体験でき、また最新技術のCGパース作成ソフトについても知ることができました。これを機に、よりわかりやすく建築主へ提案できるように、今後も様々なことについて土曜研修で学んでいきたいと思えます。

### ◎クイズ

次の中でVRを意味する日本語はどれでしょう。(他はARを意味します)

- ① 強化現実感
  - ② 拡張現実感
  - ③ 人工現実感
  - ④ 増強現実感
- 正解は、次回の中村設計新聞で！

前号のクイズの答え...②